

## 事故報告書

事業所名	「ふるさとの丘」		サービスの種類	介護老人福祉施設	
発生日時	平成 27年 5月 18日(月) (午後 3時 45分 頃)		発見日時	平成 27年 5月 18日(月) (午後 3時 45分 頃)	
性別	女性	年齢	95 歳	要介護度	2
発生の状況 (原因、発見時の状況等含む)	<p><u>5月 18日</u></p> <p>・午後 3時 45分 頃 ⇒ 介護職員が対象者と同ユニットのご入所者の居室から戻った際、このユニットのリビングで座っていた対象者がいないのに気づき、館内を探したところ、1階外の芝生で仰向けになって倒れている対象者を発見しました。</p>				
発生の要因	<p>・対象者はいつもユニットのリビング内を徘徊していました。今回、介護職員が他のご利用者の排泄介助をしていた僅かな時間に、1階外の芝生へ出られて転倒したと思われます。</p>				
ケガ等の状況及びその対応	<p>(ケガ等の状況)</p> <p>・現場において、看護職員が身体の状態を看たところ、腰痛の訴えが強く、後頭部にこぶし大の赤みがあり、右膝に 1.5センチ大の皮剥け、右手背に 5センチほどのすり傷がありました。</p>				
	<p>(対応「受診日、その状況等含む」)</p> <p><u>5月 18日</u></p> <p>・すぐに協力病院へ受診したところ、腰椎圧迫骨折との診断をされ、そのまま入院となりました。</p>				
死亡原因	—				
家族への対応及びその反応	<p>(家族への対応「説明日、内容等」)</p> <p><u>5月 18日</u></p> <p>・16:05 ごろ ⇒ 看護職員がご長男の奥様に電話をしました。その内容は、上記に記載されたとおりの状況を説明して、協力病院へ受診することをお伝えしました。同時に、お詫びを申し上げました。</p> <p>・16:30 ごろ ⇒ 協力病院において、看護職員がご長男に上記と同じ説明をして、お詫びを申し上げました。</p>				
	<p>(家族の反応等)</p> <p>・ご長男ご夫妻とも、「ご心配ばかりかけて大変申し訳ありません」と返事をされていました。</p>				
事故後の対策等	<p>・対象者は今まで狭い範囲の徘徊しかされていなかったもので、外へ出ることは考えていませんでした。今後は、必ず職員が目の届く範囲内で見守りをしていくようにしました。</p>				
その他					